

株式会社宮崎銀行

2021年3月期 決算説明資料

< 目次 >

1. 会社概要 …P2

I.2021年3月期 決算概要

- 1. 2021年3月期 決算サマリー …P4
- 2. 減収・減益の要因 …P5
- 3. 貸出金の状況① …P6
- 3. 貸出金の状況② 平残および利息額
ならびに利回りの推移 …P7
- 4. 与信関連費用・不良債権の状況 …P8
- 5. 役務取引等収益① …P9
- 5. 役務取引等収益② …P10
- 6. 預金の状況 …P11
- 7. 有価証券の状況 …P12
- 8. 自己資本比率の状況/株主還元の状況 …P13
- 9. 2021年度業績予想 …P14

II.新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応

- 1. お客さま支援の状況 …P16
- 2. 新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応 …P17

III.中期経営計画「With You」の進捗状況

- 1. 中期経営計画「With You」の概要 …P19
- 2. 中期経営計画「With You」初年度の成果 …P20

IV.SDGsに関する取り組み

- 1. With Region～地域とともに① …P22
- 1. With Region～地域とともに② …P23
- 2. With Customer～お客さまとともに …P24
- 3. With Innovation～イノベーションとともに …P25



1. 会社概要 (2021年3月末現在)

株式会社 宮崎銀行 The Miyazaki Bank, Ltd.

資本金	146億円
総資産	3兆6,441億円
純資産	1,559億円
預金等残高	2兆8,200億円
貸出金残高	2兆1,577億円
有価証券残高	7,000億円
従業員数	1,388人
格付け (株)日本格付研究所)	長期発行体格付「A」
店舗数	国内本支店 73 出張所 23 合計 96
グループ会社	宮銀ビジネスサービス(株) 宮銀コンピューターサービス(株) 宮銀リース(株) 宮銀ベンチャーキャピタル(株) 宮銀保証(株) 宮銀カード(株) (株)夢逢いファーム (株)Withみやざき

I .2021年3月期 決算概要

1.2021年3月期 決算サマリー

【 単体 】

(単位：億円)

	2020年 3月期 (1)	2021年 3月期 (2)	増減 (2) - (1)
経常収益 ①	501.8	471.5	▲30.3
コア業務粗利益 ②	377.8	379.2	1.4
資金利益	348.5	340.5	▲8.0
役務取引等利益	29.7	36.0	6.3
その他業務利益 (債券関係損益除く)	▲0.4	2.7	3.1
経費 ③	242.3	246.4	4.1
人件費	123.5	124.2	0.7
物件費	101.3	105.7	4.4
コア業務純益 (②-③) ④	135.4	132.8	▲2.6
除く投資信託解約益	110.1	104.1	▲6.0
与信関連費用 ⑤	12.6	18.3	5.7
貸倒引当金繰入額 (▲は戻入)	9.4	15.3	5.9
償却債権取立益	1.2	0.5	▲0.7
有価証券に関する損益 ⑥	▲14.0	▲5.1	8.9
債券関係損益	▲22.3	▲19.4	2.9
株式等関係損益	8.3	14.3	6.0
その他臨時損益 ⑦	1.9	0.7	▲1.2
経常利益 (④-⑤+⑥+⑦) ⑧	110.7	110.1	▲0.6
特別損益	▲0.6	▲0.0	0.6
税引前当期純利益	110.0	110.1	0.1
法人税等合計	33.2	37.5	4.3
当期純利益 ⑨	76.7	72.5	▲4.2

【2021年3月期決算の概要】

- ・経常収益は、貸出金利息や役務取引等収益が増加したものの、有価証券利息配当金や株式等売却益が減少したことから前期比30.3億円減少。
- ・経常利益は、物件費や与信関連費用が増加したものの、有価証券に関する損益の改善によりカバーし、前期と同水準を維持。

①経常収益

2020年3月期比 ▲30.3億円

- (a)貸出金利息が増加したものの、有価証券利息配当金の減少で資金運用収益が減少。
 (b)預り資産手数料およびソリューション手数料の増加で役務取引等収益が増加。
 (c)株式等売却益および雑益の減少でその他経常収益が減少。

②コア業務粗利益

2020年3月期比 +1.4億円

- (a)債券貸借取引支払利息が減少したものの、資金運用収益の減少で資金利益が減少。
 (b)預り資産手数料など、役務取引等収益が増加したことから役務取引等利益が増加。
 (c)金融派生商品損益の改善によりその他業務利益 (債券関係損益除く) が増加。

④コア業務純益

2020年3月期比 ▲2.6億円

- (a)コア業務粗利益が増加したものの、固定資産償却の増加により物件費が増加。

⑧経常利益

2020年3月期比 ▲0.6億円

- (a)コア業務純益の減少や与信関連費用の増加があったものの、有価証券に関する損益の改善により、前期と同水準を維持。

⑨当期純利益

2020年3月期比 ▲4.2億円

2.減収・減益の要因

(単位：億円)

経常収益 ▲30.3

要因

減収要因

①資金運用収益		▲14.1
貸出金利息 +6.7	法人向け貸出金利息	+7.8
	個人向け貸出金利息	+1.8
	公共貸出金利息	▲2.9
有価証券利息配当金		▲21.0
②役務取引等収益		+7.3
③その他業務収益		▲1.2
④その他経常収益		▲22.3

貸出金利息 +6.7億円
 (増収要因) 法人向け貸出金利息+7.8億円、個人向け貸出金利息+1.8億円
 (減収要因) 公共貸出金利息▲2.9億円
 有価証券利息配当金 ▲21.0億円
 (増収要因) 外国証券利息+2.1億円
 (減収要因) 国債・地方債利息▲6.2億円、社債利息▲2.6億円
 株式配当金▲13.1億円
 その他証券利息▲1.2億円 (投資信託解約益+3.4億円)

(増収要因) 預り資産手数料+3.6億円、ソリューション手数料+1.5億円
 受入雑手数料+1.1億円、受入保証料+0.9億円

(増収要因) 外国為替売買益+1.1億円
 (減収要因) 国債等債券売却益▲2.9億円

(増収要因) 金銭の信託運用益+1.9億円
 (減収要因) 株式等売却益▲21.4億円、雑益▲2.3億円

経常利益 ▲0.6

要因

減益要因

⑤コア業務純益		▲2.6
⑥与信関連費用		+5.7
⑦有価証券に関する損益		+8.9
⑧その他臨時損益		▲1.2

(増益要因) 役務取引等利益+6.3億円
 その他業務利益 (債券関係損益除く) +3.1億円
 (減益要因) 資金利益▲8.0億円、経費+4.1億円

(減益要因) 貸倒引当金繰入額+5.9億円

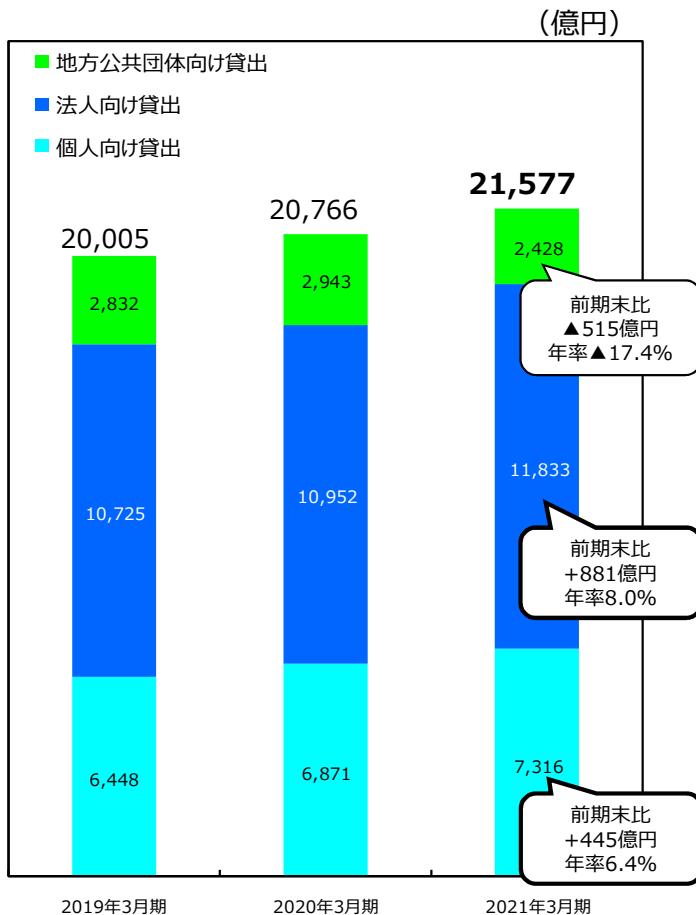
(増益要因) 債券関係損益+2.9億円、株式等関係損益+6.0億円

(増益要因) 金銭の信託運用損益+1.9億円
 (減益要因) 退職給付費用+1.6億円、雑益▲2.3億円

3.貸出金の状況①

- 対象別残高は、新型コロナウイルス感染症対策にかかる資金繰り支援により、法人向け貸出が前期比881億円の増加。住宅ローン残高の伸長により、個人向け貸出が445億円の増加。
- 対象別貸出金利息は、個人向けが前期比186百万円増加、法人向けが同785百万円増加。

【対象別残高の推移】



【対象別貸出金利息の推移】

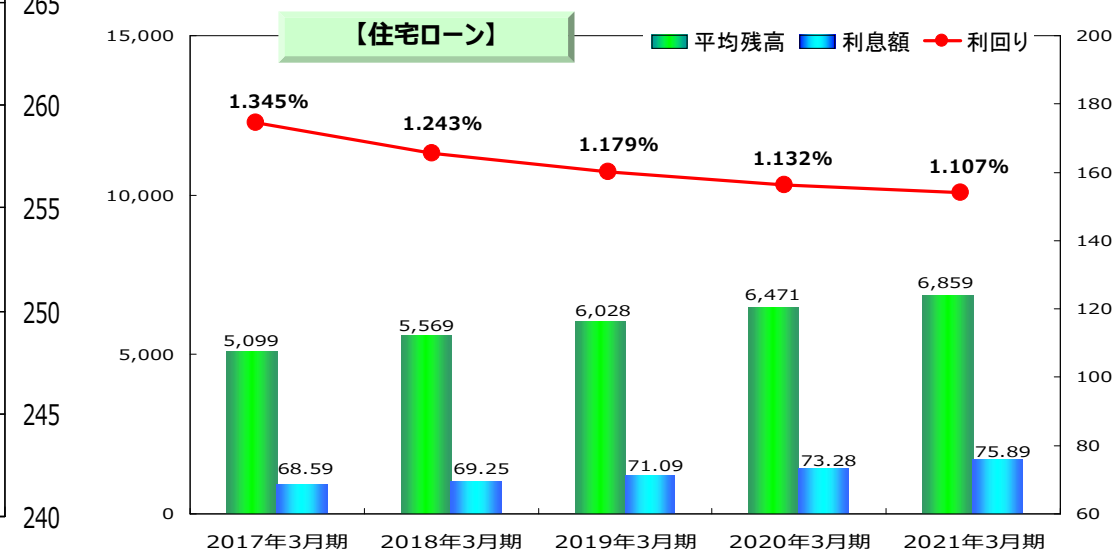
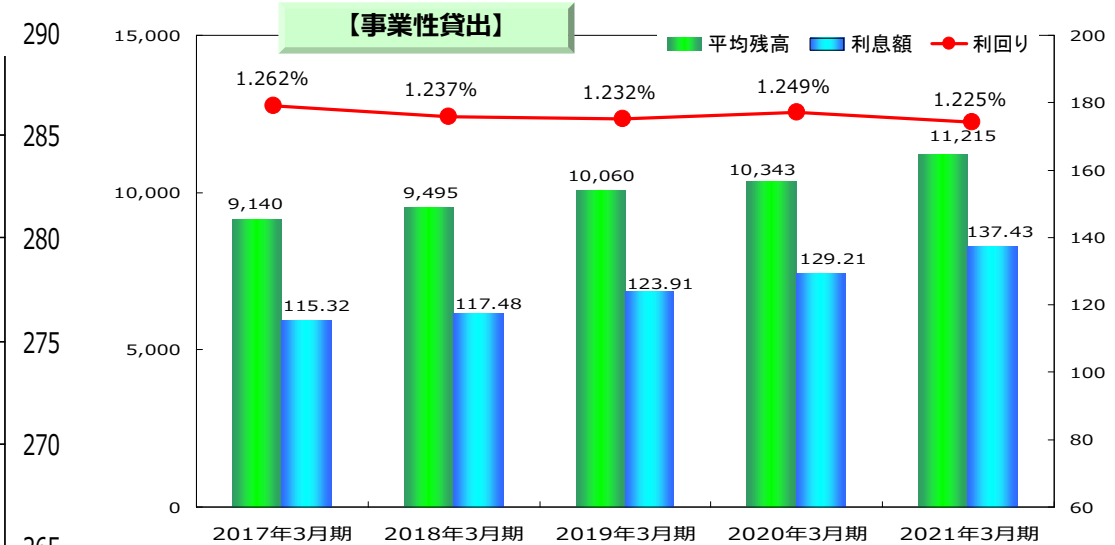
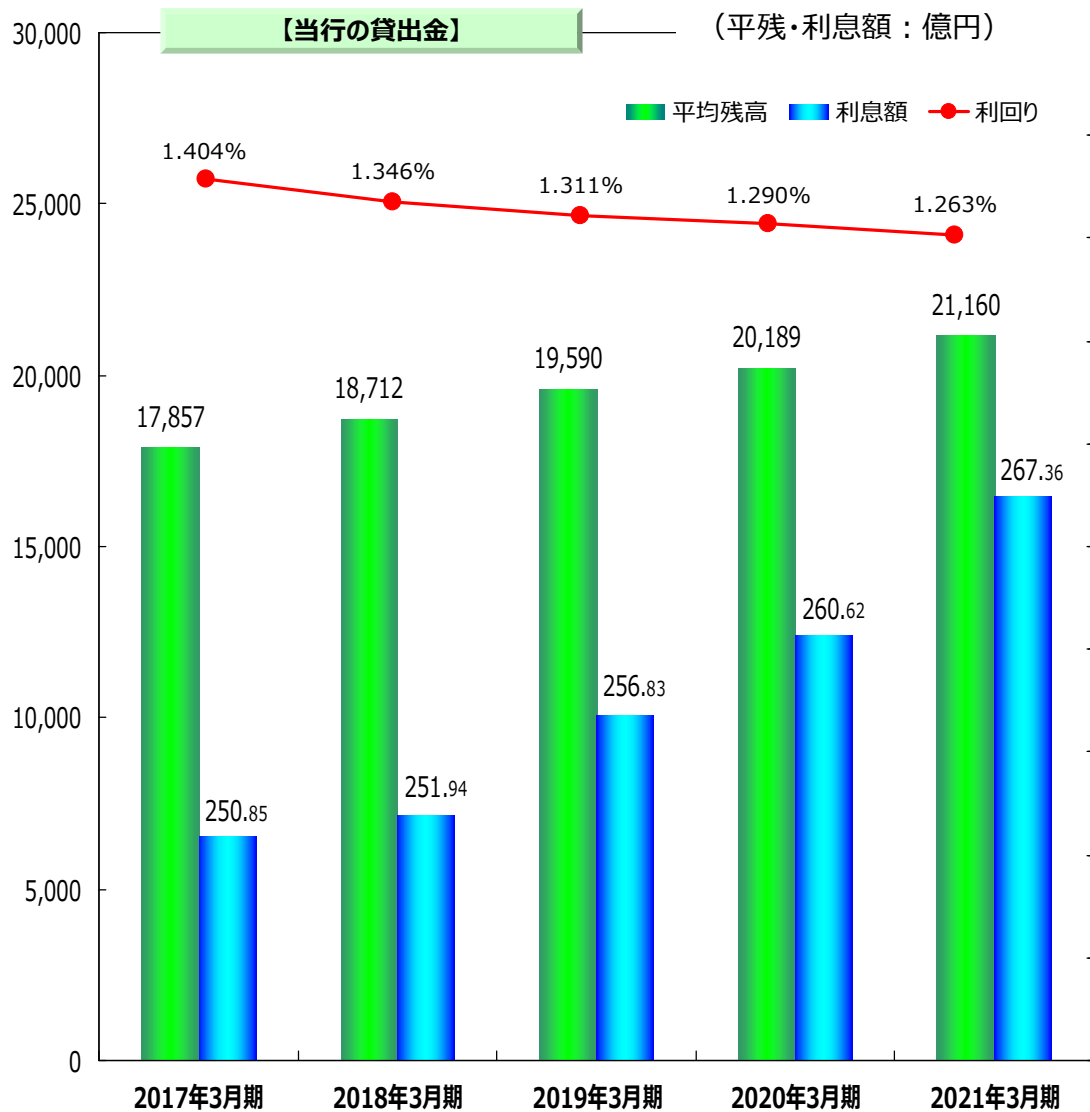
	2020年3月期	2021年3月期	増減
個人向け貸出	10,842	11,028	+ 186 (+1.7%)
法人向け貸出	13,672	14,457	+ 785 (+5.7%)
地方公共団体向け貸出	1,548	1,251	▲297 (▲19.1%)
合計	26,062	26,736	+ 674 (+2.5%)

【セグメント別残高】

中小企業等貸出残高	17,473億円
コロナ禍における資金繰り支援のほか、住宅ローンを中心とした個人向け貸出や医業の大型設備更新等により前期末比1,248億円増加（年率7.6%）。	
アグリ関連貸出残高	780億円
アグリ：344億円（年率2.6%）・フード：436億円（年率4.5%）。アグリは野菜部門中心に、フードはコロナ禍におけるセーフティネット資金支援を中心に残高伸長。	
医業・介護貸出残高	1,866億円
大型病院の移転建替え資金対応とコロナ感染拡大による緊急支援貸付に伴い残高伸長。前期末比199億円増加（年率11.9%）。	
住宅ローン貸出残高	6,741億円
住まいのプラザを中心とした業者営業推進。前期末比459億円増加（年率7.3%）。	
アパートローン等残高	2,452億円
アパートや収益物件の建替え需要を中心に増加（前期末比44億円増加、年率1.8%）。但し、前期の増加率2.8%に比べ、増加ペースは鈍化。	
無担保個人ローン貸出残高	504億円
コロナ禍による資金需要低下を受けて、前期末比8億円減少（年率▲1.5%）。	

3.貸出金の状況② 平残および利息額ならびに利回りの推移

- 貸出金の平均残高は、新型コロナウイルス感染症対策として、事業者向け資金繰り支援を積極的に行ったことにより前期比971億円増加し、2兆1,160億円（年率4.8%）。
- 利回りは、同0.027%低下し1.263%となったが、利息額は前期比6億7,400万円増加。



4. 与信関連費用・不良債権の状況

- 与信関連費用は、一般貸倒引当金繰入額および不良債権処理額が増加したことから、前期比5.7億円増加し18.3億円。
- 不良債権残高（金融再生法開示債権）は、前期末比46億円増加し343億円。不良債権比率は前期末比0.15%上昇の1.57%。

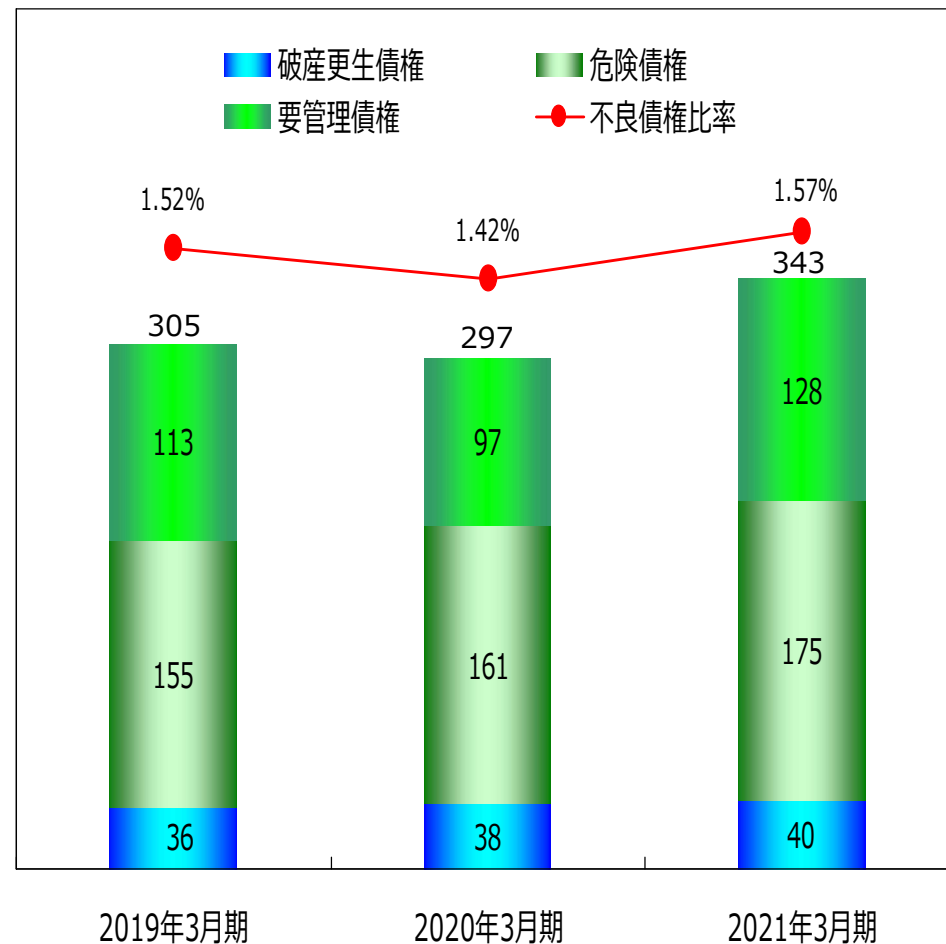
【与信関連費用の推移】

(億円)

	2020年 3月期	2021年 3月期	増減
与信関連費用 (①+②-③)	12.6	18.3	+5.7
一般貸倒引当金繰入額 ①	▲2.0	2.0	+4.0
不良債権処理額 ② (個別貸倒引当金繰入額、貸出金償却等の合計額)	15.8	16.8	+1.0
償却債権取立益 ③	1.2	0.5	▲0.7

【不良債権（金融再生法開示債権）残高の推移】

(億円)



5. 役務取引等収益①

- 預り資産手数料は投資信託関連手数料が増加し、前期比365百万円増加。
- 2021年3月期の預り資産販売額は投資信託および保険販売額が増加したものの、公共債等債券販売額が減少したことから前期比49億円減少。

【役務取引等収益の内訳】

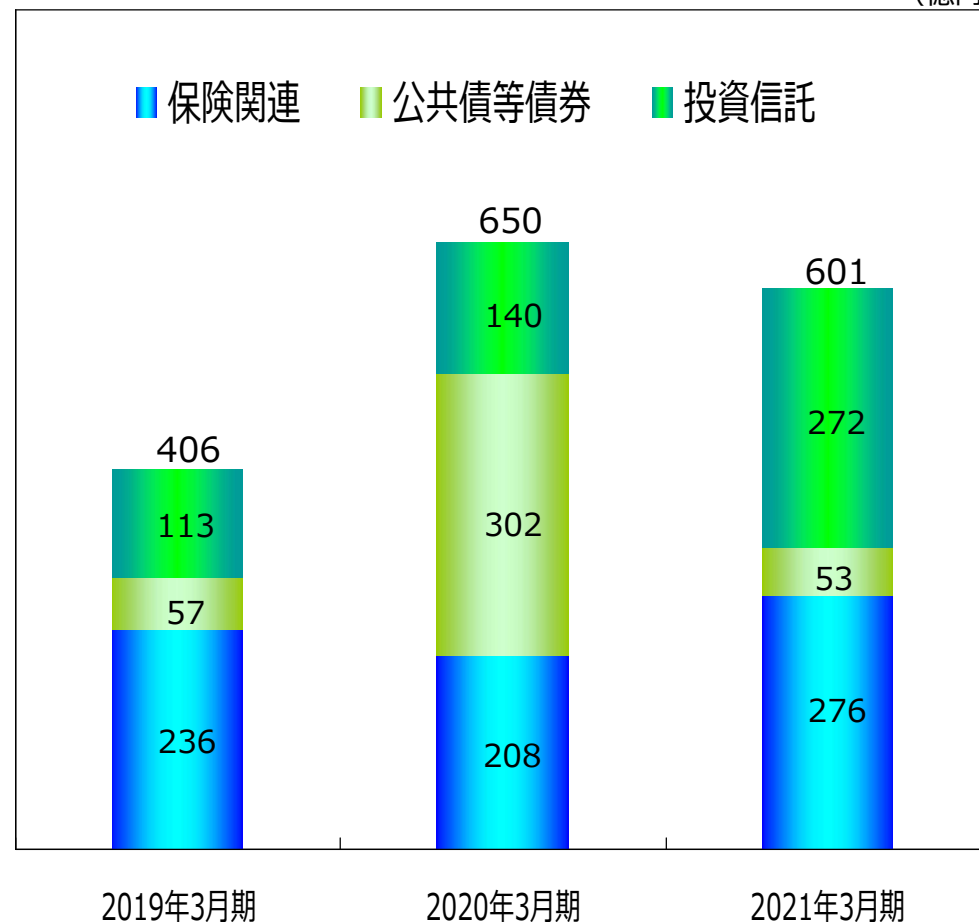
(百万円)

	2020年 3月期	2021年 3月期	増減
役務取引等収益	7,995	8,732	+ 737
預り資産手数料	1,573	1,938	+ 365
投資信託関連手数料	549	928	+ 379
公共債等債券手数料	97	30	▲ 67
保険関連手数料	927	980	+ 53
ソリューション手数料 (※)	462	613	+ 151
その他	5,960	6,181	+ 221

(※) 事業承継、M&A、ビジネスマッチング、私募債等に係る手数料

【預り資産販売額】

(億円)



5. 役務取引等収益②

- ソリューション手数料は、M&A関連手数料および私募債引受手数料が増加したことから、前期比151百万円増加し613百万円。
- 成約件数は、M&Aの成約件数や私募債の引受件数が増加し、前期比2件増加の139件。

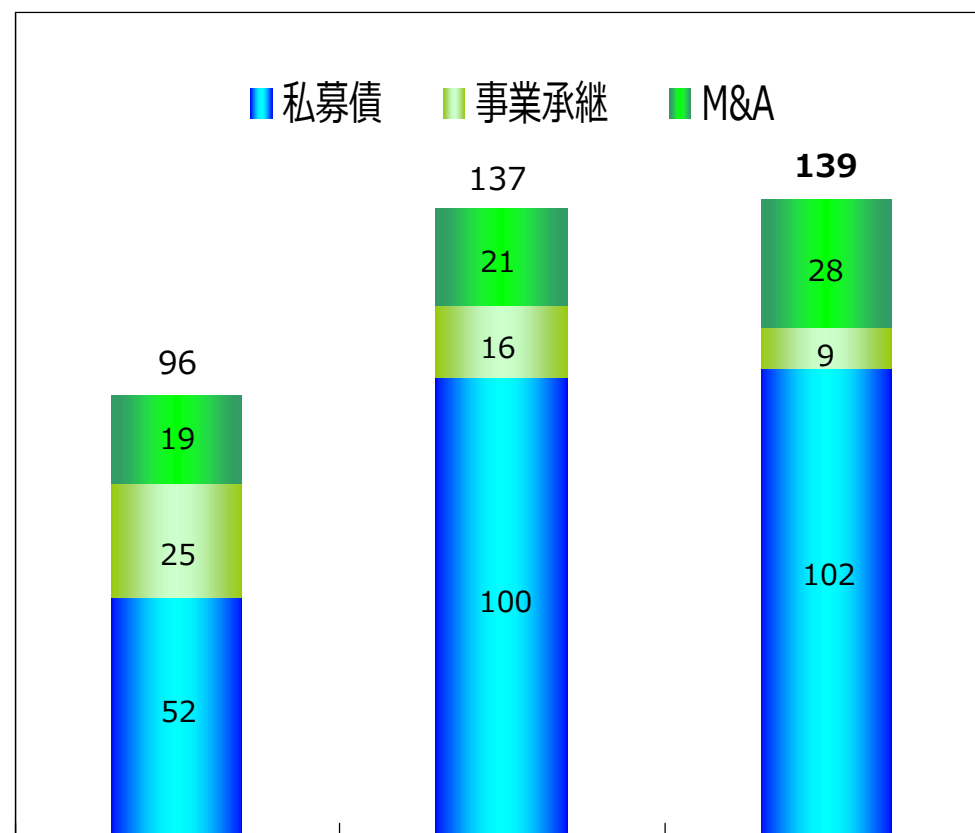
【ソリューション手数料の内訳】

(百万円)

	2019年 3月期	2020年 3月期 ①	2021年 3月期 ②	増減 ②－①
ソリューション手数料	288	462	613	+151
うちM&A関連手数料	138	183	365	+182
うち事業承継関連手数料	9	7	4	▲3
うち私募債引受手数料	74	127	148	+21

【事業承継・M&A・私募債 成約件数】

(件数)



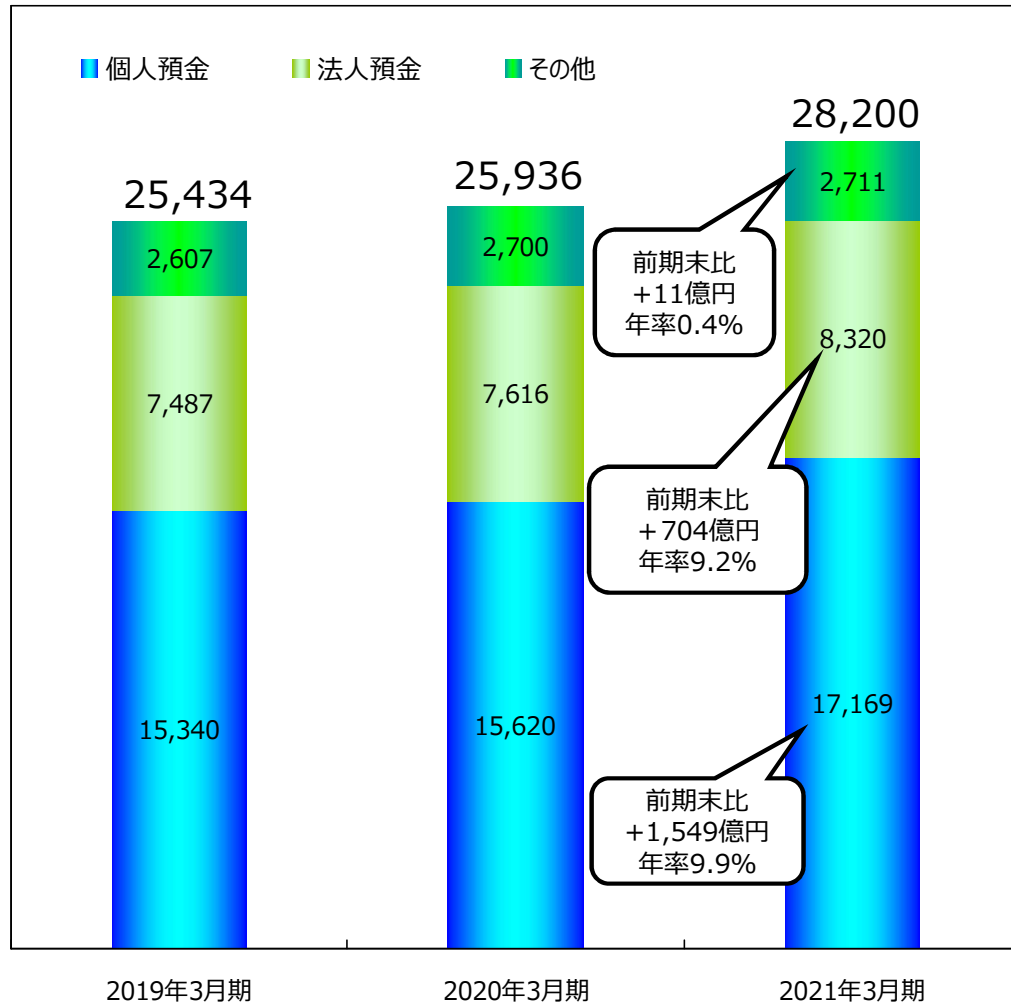
2019年3月期 2020年3月期 2021年3月期
 (※) 事業承継はコンサルティング契約件数、M&Aは成約件数、私募債は引受件数

6.預金の状況

- 預金残高は堅調に推移し、前期末比2,264億円増加し2兆8,200億円。
- 宮崎県(+2,969億円)・鹿児島県(+191億円)の、いわゆる「地元預金」が大きく増加。

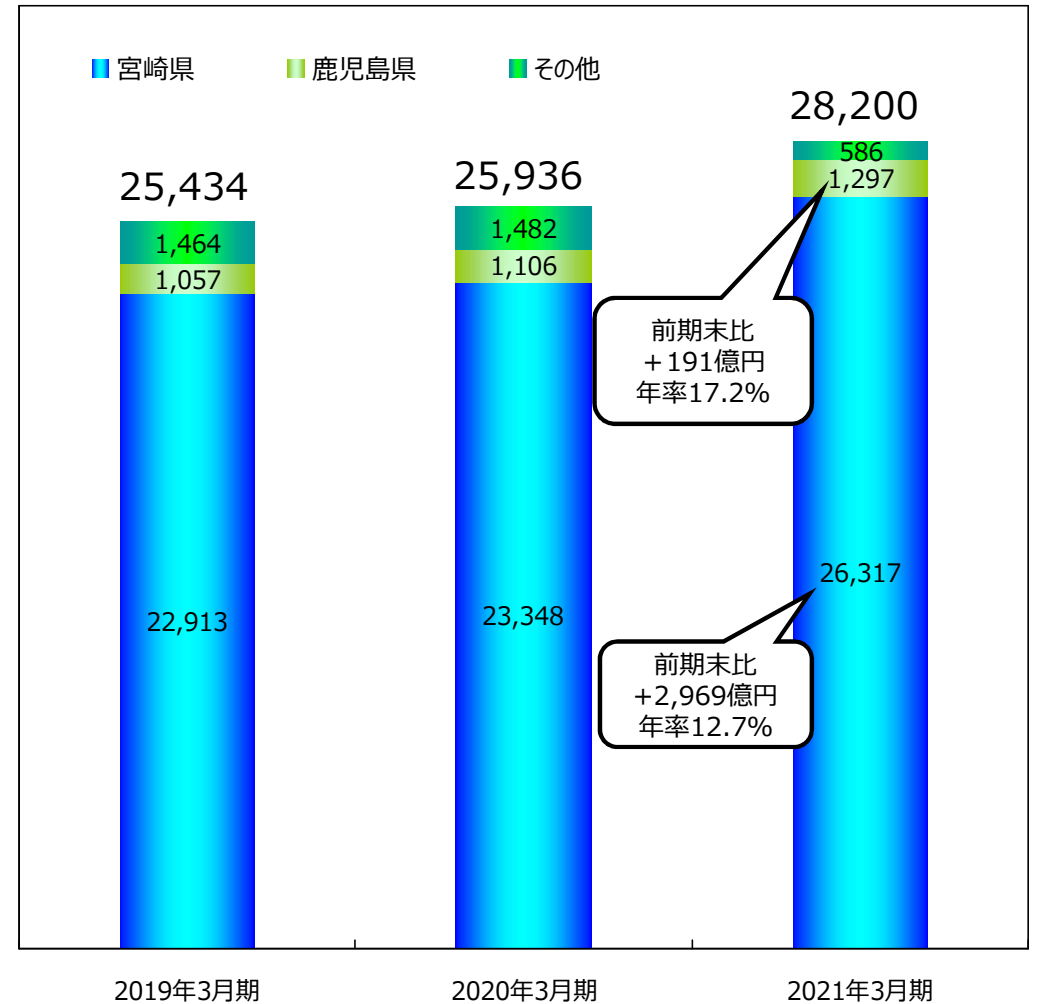
【対象別残高の推移】

(億円)



【地域別残高の推移】

(億円)



7. 有価証券の状況

- 有価証券残高は、地方債・株式・外国証券およびその他証券が増加したことから、前期末比1,014億円増加し7,000億円。
- 評価損益は、株式の含み益が増加したことから、前期末比38億円増加し118億円。

【有価証券残高の推移】

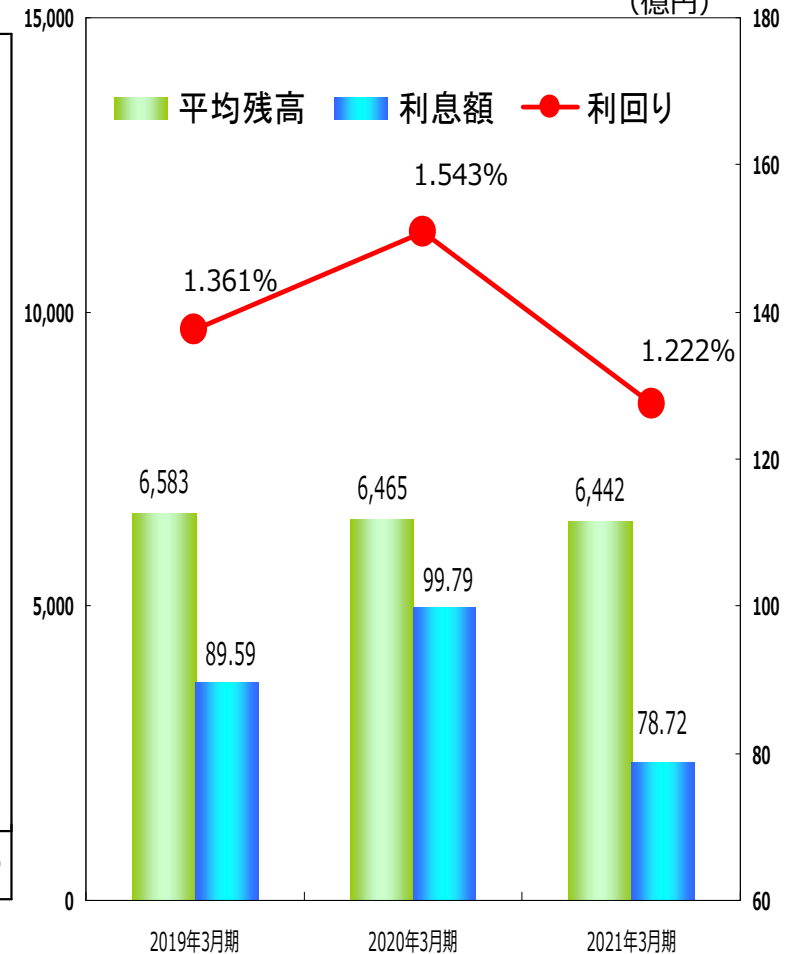
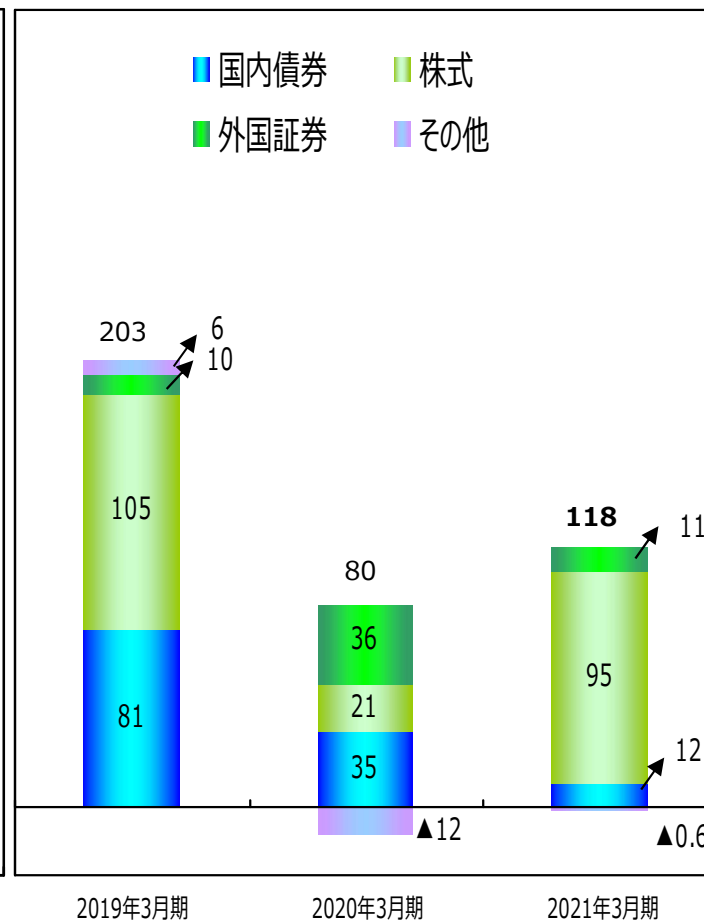
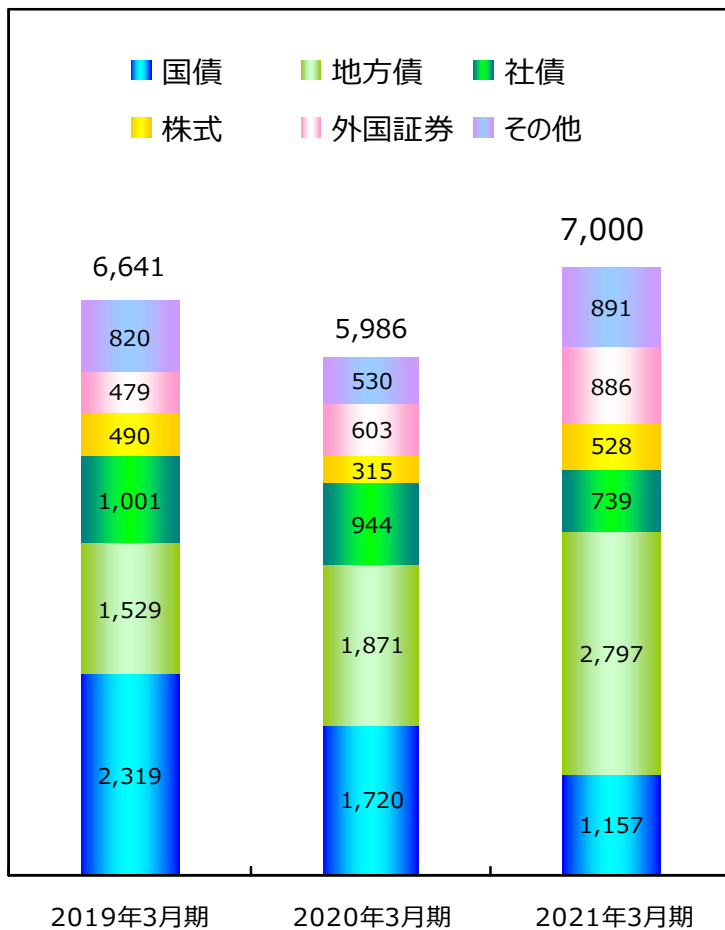
(億円)

【評価損益の推移】

(億円)

【有価証券平残・利息額・利回りの推移】

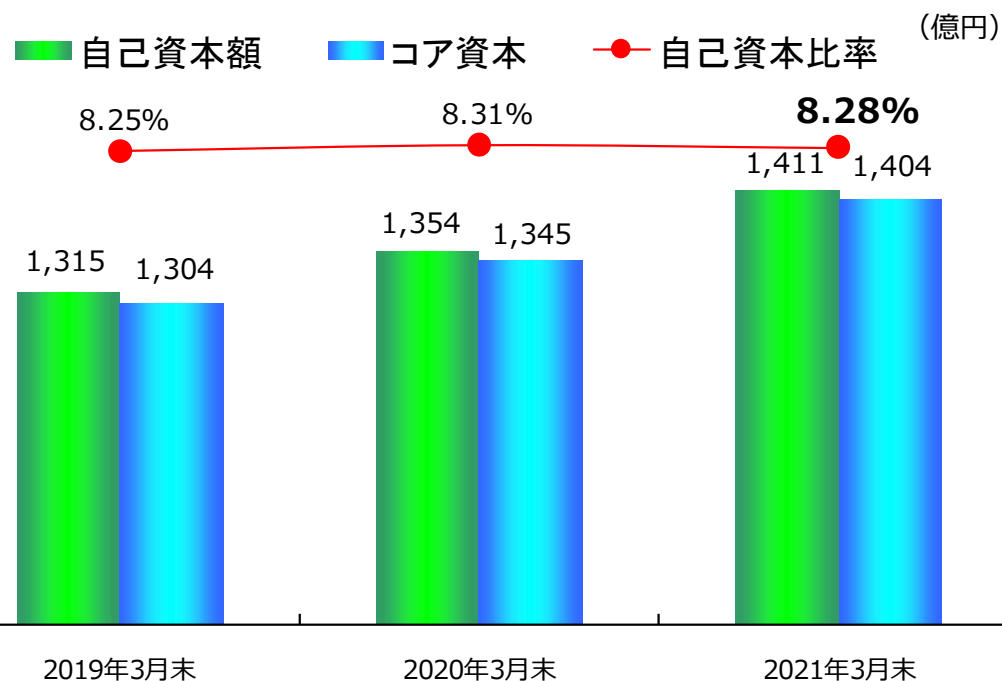
(億円)



8.自己資本比率の状況/株主還元の状況

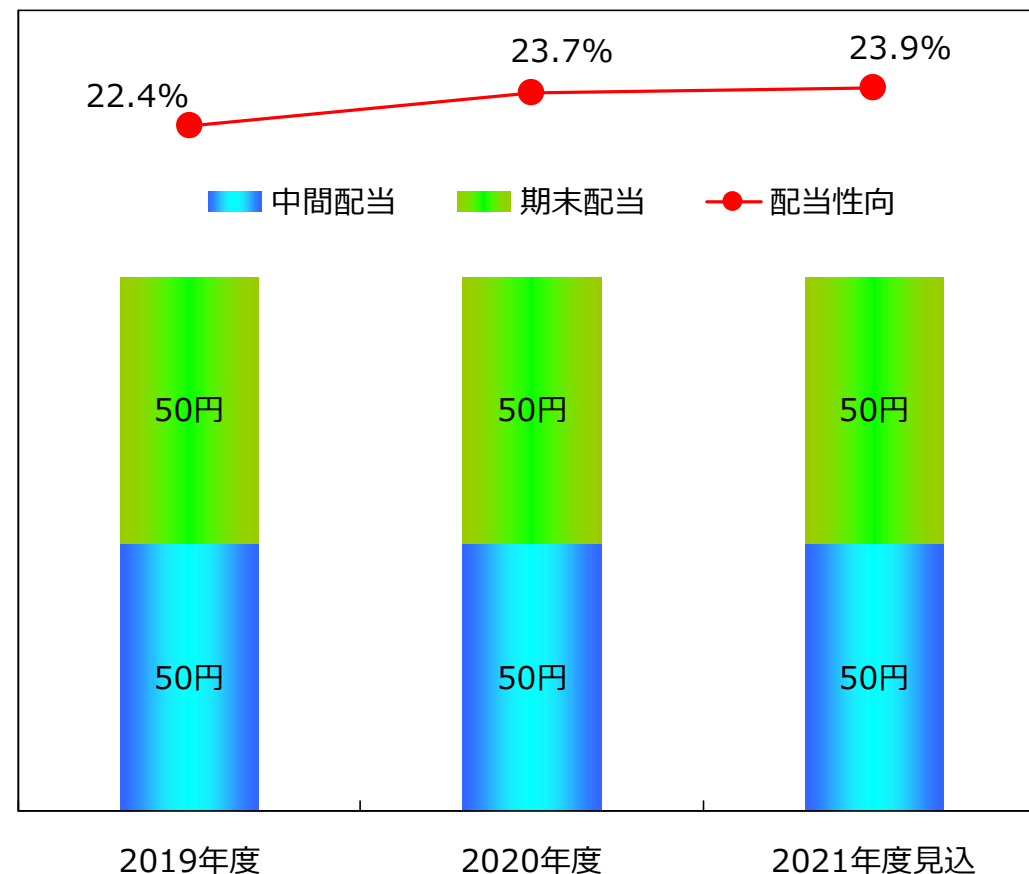
【自己資本比率の状況】

- 自己資本額は、利益の積み上げを中心に前期末比57億円増加。
- 一方、リスク・アセットは、中小企業向けおよび個人向け貸出金の増加や有価証券の増加により前期末比753億円増加。
- 以上の結果、自己資本比率は前期末比0.03%低下。
- 中期経営計画最終年度目標8%をクリア。



【株主還元の状況】

- 2021年度の配当についても、安定配当を基本とし中間・期末配当ともに50円、年間配当100円を予定。
- 今後も、株主価値の向上のため、利益向上を図り、株主への利益還元を実施。



9.2021年度業績予想

	2021年3月期 実績①	2022年3月期 予想②	増減 ② - ①
経常収益	471億円	475億円	+4億円
一般貸倒引当金繰入額	2億円	4億円	+2億円
不良債権処理額	16億円	23億円	+7億円
経常利益	110億円	105億円	▲5億円
当期純利益	72億円	72億円	0億円

- 2021年度は「増収減益」の見込み。
- 2021年度についても、金融仲介機能を十分に発揮し、新型コロナウイルスの影響を受けた地域事業者に対し、積極的に資金供給および事業支援を展開していく方針であり、経常収益については前年度比+4億円の475億円を予想。
- 一方で、地元への資金供給にかかるコミットメントコストとして、一般貸倒引当金繰入額については+2億円、不良債権処理額については+7億円など与信関連費用を計9億円上積みしており、経常利益は減益予想。



Ⅱ. 新型コロナウイルス感染拡大 に伴う対応

1.お客さま支援の状況

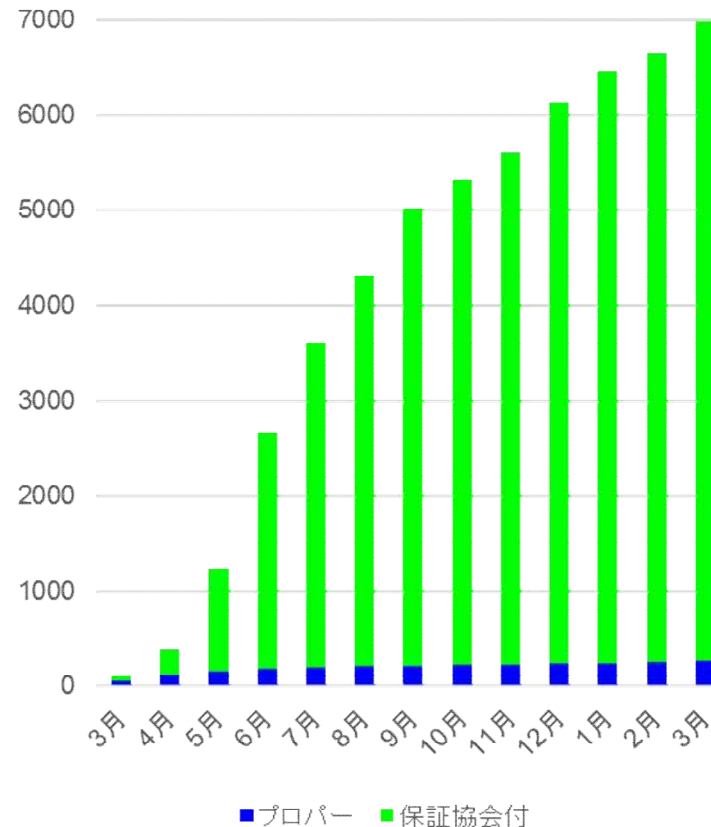
- 2020年2月以降、専用相談窓口・休日相談窓口等を設置し、円滑な資金供給を可能とする体制を構築。制度融資等を活用した、積極的な資金繰り支援に注力。
- 申込件数は増加が続いており、丁寧かつ真摯に対応し迅速な実行を実施。
- 影響が懸念されている飲食業や宿泊業への迅速な対応も奏功し、宮崎県内の月間企業倒産数は1年を通して1桁台。

【2020年3月10日～2021年3月31日までのご相談受付状況】

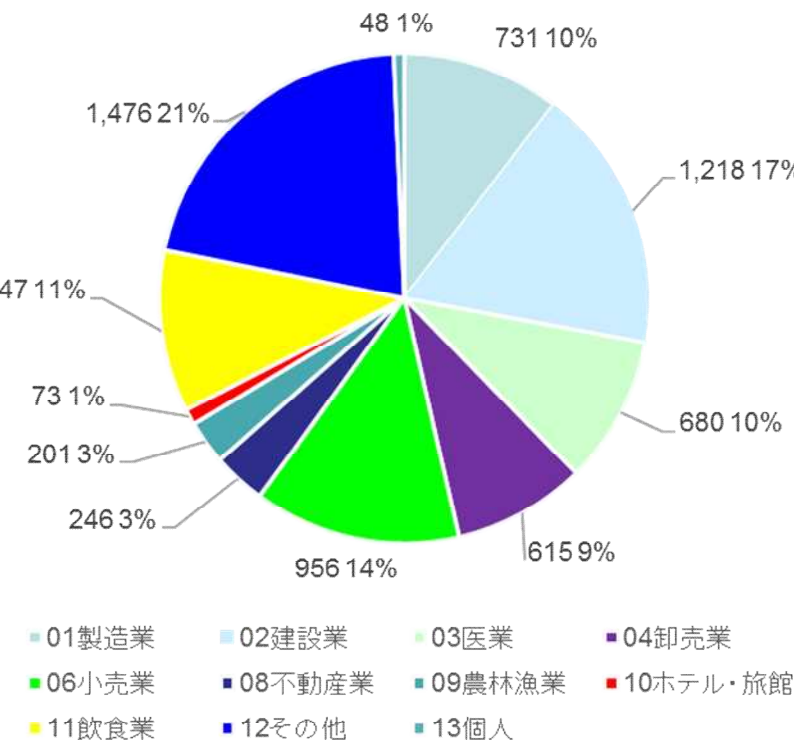
新型コロナウイルス関連融資実行状況

	件数	金額(億円)
新規融資	7,056	1,471
プロパー	333	380
保証協会	6,723	1,090
条件変更	1,210	426
事業性	1,137	414
ローン	75	12

新規融資実行件数（累計）



新規実行業種別件数・割合



2. 新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応

地域・お客さまのサポート

- ・宮崎太陽銀行との共同支援ファンド「ひなたワンチーム」を50億円から総額500億円へ増枠
- ・融資条件変更手数料の免除対応
- ・手続き時の柔軟な対応の強化
- ・事業者向け相談窓口および休日相談窓口の設置
- ・外国為替手数料の一部を免除対応
- ・対象カードローンについて一定期間の利息金額を全額キャッシュバック
- ・災害時の店舗運営体制確保のため、宮崎太陽銀行と「災害時における相互協力に関する協定」を締結。
- ・地産地消の推進



営業店・本部の体制

- ・スプリット勤務および在宅勤務の実施
- ・テレビ会議の活用
- ・一部営業店での昼休み休業導入



決算上の予備的対応措置

- ・中期経営計画「With You」において、新型コロナの予備的対応費用として、信用コストや有価証券売買益について、経常利益ベースで3カ年間累計で当初計画から50億円の増減（費用増加）を想定。
- ・2020年度における与信関連コストの実績値が18億円であるのに対し、2021年度の与信関連コストは27億円を計画しており、積極的資金供給を進めるうえでの十分な備えを実施。



Ⅲ.中期経営計画「With You」 の進捗状況

1. 中期経営計画「With You」の概要

Comment

「With Region～地域とともに」・「With Customer～お客さまとともに」・「With Innovation～イノベーションとともに」の3つの基本方針のもと、10の重点戦略を掲げ注力してまいります。

		基本方針	重点戦略
名称	With You		
目指す姿	「With You」の精神で、地域と当行の成長を両立するリーディングカンパニー	With Region	地域成長戦略 ・本業を通じた支援と直接的経済活性化支援の両面を実施
計画期間	2020年4月～2023年3月（3年間）		SDGsへの取り組み ・地域の持続可能な成長に向けた取り組みを強化
戦略の基本方針	「With Region」～ 地域とともに	With Customer	法人コンサルティング ・営業店・本部・グループ会社の一体営業の強化とソリューション機能強化によりお客さま本位のコンサルティング営業を実践
	<ul style="list-style-type: none"> ● SDGsを経営戦略に取り込み、地域の抱える課題を解決することで地域の「新しい未来」を実現する 		個人コンサルティング ・お客さま本位の業務運営の定着と、コンサルティング営業を通じたソリューションを提供
	「With Customer」～ お客さまとともに		チャネル戦略 ・店舗網の再構築、マスコンタクト営業の本部推進、デジタルサービスの利便性向上
	<ul style="list-style-type: none"> ● 信頼できる「パートナー」として、対話を通じたコンサルティング営業によりお客さまの成長を実現する ● 金融リテラシーの向上とライフプランに則したご提案によってお客さまの長期的な資産形成を実現する 		サービス品質向上 ・業務改革、手数料体系の見直し、預金戦略
	「With Innovation」～ イノベーションとともに	With Innovation	グループ戦略 ・エクイティ支援の強化、IT・デジタル分野の強化、新規ビジネスの展開に注力
<ul style="list-style-type: none"> ● 先端技術を取り入れることで、新たな金融サービスの提供と業務改革を進めるとともに、地域・お客さまのIT・デジタル化を支援する ● 激変する外部環境に適応できる柔軟な経営基盤を構築する 	IT・デジタル戦略 ・オープンイノベーションとグループ会社との連携		
			市場運用戦略 ・機動的な有価証券運用による総合的な収益力の確保
			組織・人づくり ・組織風土改革と人材育成強化

2.中期経営計画「With You」初年度の成果

中期経営計画指標		2021年3月期 実績	2023年3月期 (中計最終目標)	中計最終目標に対する進捗率 (2021年3月期)
収益性	経常収益(※1)	471億円	1,350億円	34.8% / 標準進捗率33.3%
	経常利益(※1)	110億円	300億円	36.6% / 標準進捗率33.3%
	ROE	4.79%	4.5%以上	○
効率性	OHR(※2)	64.97%	69%未満	○
健全性	自己資本比率	8.28%	8%以上	○
成長性	総預金残高	28,200億円	27,000億円	○
	総貸出金残高	21,577億円	21,600億円	△

(※1) 中期経営計画の経常収益および経常利益は3カ年累計

(※2) OHR = 経費 ÷ コア業務粗利益 (業務粗利益 - 債券関係損益)

中期経営計画「With You」の初年度である2020年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に対応した資金供給や事業支援を積極的に実施し、経常収益471億円、経常利益110億円をはじめとして、総貸出金残高を除く全ての項目において、中期経営計画1年目の**標準進捗率・中期経営計画最終年度目標を上回る成果**となりました。

2年目にあたる、本年度についても、本業支援・事業転換支援コンサルティングなどを効果的に織り交ぜながら、アフターコロナに備えた資金需要への対応を継続し、最終年度の中期経営計画達成に繋げてまいります。



IV.SDGsに関する取り組み

1. With Region～地域とともに①

災害に関する連携協定

大規模災害や感染症等の発生時における応急対策強化を目的として、2020年4月、肥後銀行、大分銀行、鹿児島銀行と、「災害相互支援に関する協定」を締結しました。2021年1月には、宮崎太陽銀行と「災害時における相互協力に関する協定」を締結し、地域のお客さまに安心して金融サービスをご利用いただける体制を強化しました。



新型コロナウイルスへの対応

新型コロナウイルスの影響を受けられた事業者さまの資金ニーズに対し、迅速かつ柔軟に対応するため、ご相談窓口を設置しました。また、宮崎太陽銀行と共同設立した「新型コロナウイルス特別支援ファンド『ひなたワンチーム』」等により地元企業さまの資金繰り支援に積極的に取り組みました。



地域の清掃活動



宮崎県を代表する大淀川上流の清掃に役職員約200名が参加しました。



脱炭素の取り組み

行内温室効果ガス削減を目的に電気自動車およびプラグインハイブリッド車を導入しました。2021年度までに、本部および営業店の車両合計14台を順次入れ替える計画です。また、お客さま宛てに使用する封筒の窓あき部分を紙素材へ変更したほか、粗品についても順次環境配慮型へ転換しています。



ビジネスプランコンテスト開催

女性や若者の新たなビジネスへのチャレンジを支援し、地方創生や女性活躍推進につなげることを目的に、女性起業家ビジネスプランコンテスト、宮崎・学生ビジネスプランコンテストを開催しました。今年度もたくさんの応募があり、熱のこもったプレゼンが行われました。



1. With Region～地域とともに②

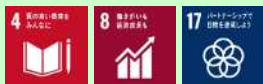
環境省との「国立公園オフィシャルパートナーシップ」締結

2020年10月、環境省と企業が相互に協力し、国立公園の魅力の世界に向けて発信し、地域の活性化につなげることを目的に環境省と「国立公園オフィシャルパートナーシップ」を締結しました。



夢逢いファームの取り組み

夢逢いファーム富吉農場で、希少な「アボカドハチミツ」が収穫されました。また、包括連携協定を締結している宮崎大宮高等学校の学生が、富吉農場でフィールドワークを行い、夢逢いファームの目的や取り組みを知ることにより、金融リテラシーの理解を深めました。



SDGs普及に向けた取り組み

SDGsの普及を目的に、お客さま向けのパンフレットを作成しました。今後は地域ごとにお客さまセミナーを開催するなど、SDGsの普及に向けた取り組みを強化していきます。



地産地消の取り組み

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地域経済を応援するため、地産地消に取り組んでいます。県産の花弁やお取引先の商品の購入のほか、地元の飲食業者を応援するため、昼食時にはお弁当を注文するなど、積極的な取り組みを行っています。



宮崎県医師会へ寄付

新型コロナウイルス感染症対策支援として、医療従事者の安全確保や医療活動に役立てていただくことを目的に、公益社団法人宮崎県医師会へ1,000万円の寄付を行いました。



2. With Customer～お客さまとともに

寄付型商品

マイカーローンにおいて、収益の一部を交通安全活動のため寄付するキャンペーンを実施し、2020年10月宮崎県交通安全対策推進本部や公益財団法人鹿児島県交通被災者たすけあい協会に寄付を行いました。



地域商社設立 Withみやざき

2021年1月、魅力ある地域産品を全国に発信し、宮崎と「一緒に」未来を創出することを目的に地域商社「株式会社Withみやざき」を設立しました。



第8回バンクオブザイヤー 「地域貢献大賞」受賞

株式会社日本M&Aセンターが主催する、第8回バンクオブザイヤーにて、地域に最も貢献した銀行に授与される「地域貢献大賞」を受賞しました。



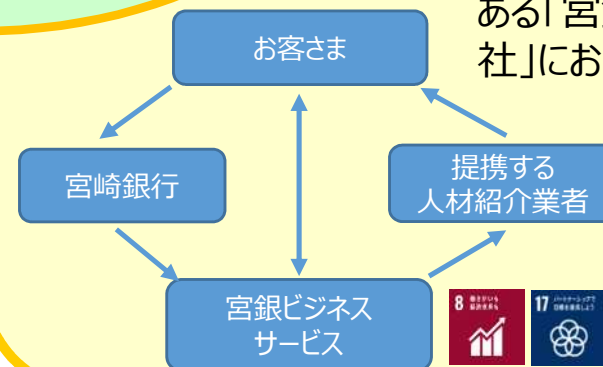
私募債商品の充実

2020年6月、SDGs応援私募債(With未来)、同年10月に寄付型私募債(感謝とエールを込めて)の取り扱いを開始しました。「SDGsの概念に資する活動をしている団体」や「医療従事者・介護従事者」の活動を支援するため、多くのお客さまにご利用いただいています。



人材紹介業務の開始

人口減少や少子高齢化に伴い、「人材」に関する経営課題を抱える企業が増加する中、グループ会社である「宮銀ビジネスサービス株式会社」において人材紹介業務を開始しました。2021年3月には、内閣府「先導的人材マッチング事業」の間接補助事業者に採択されました。



みやぎんアプリ

2021年1月、「みやぎんアプリ」を導入しました。来店不要で振り込みや振り替え、ローンや投資信託等の各種お手続きが可能です。多様化するお客さまのニーズに幅広くお応えするため、最新のITやデジタル技術を活用したサービス拡充を積極的に推進しています。



業務のペーパーレス化を進めています

預り資産業務の電子化



2020年7月から、投資信託全商品および保険商品の一部商品において、業務の効率化・ペーパーレス化を目的に電子化を行いました。今後、他の保険商品についても順次電子化を行ってまいります。



在宅勤務制度の導入

働き方改革の一環として、在宅勤務制度を導入しました。モバイルPCによる、オンラインでの情報共有やデータ管理を行うことで、業務の効率化を図っています。新型コロナウイルス感染症の感染予防対策と業務遂行の両立も図れ、多様な働き方に対応しています。



住宅ローン電子契約



住宅ローンの契約においても2021年1月から、電子契約の運用を開始しました。IT技術の活用によるお客さまの利便性向上に取り組むとともに、お客さまの幅広いニーズにお応えできるようサービスの向上に努めています。



**本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、不確実性を
内包しております。
将来の業績は、経営環境の変化等により、目標対比異なる可能性
があることにご留意ください。**

**本件に関するお問い合わせ先
株式会社宮崎銀行 経営企画部 広報室
TEL: 0985-32-8213
E-mail:keiki@miyagin.co.jp**